



平成27年7月13日

各位

上場会社名 津田駒工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 高納 伸宏
 (コード番号 6217)
 問合せ先責任者 専務取締役総務部長 竹鼻 達夫
 (TEL 076-242-1110)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年4月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年11月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年12月1日～平成27年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,100	350	350	300	4.69
今回修正予想(B)	38,000	250	250	200	3.12
増減額(B-A)	△2,100	△100	△100	△100	
増減率(%)	△5.2	△28.6	△28.6	△33.3	
(ご参考)前期実績 (平成26年11月期)	34,735	△1,207	△1,161	△1,263	△19.77

平成27年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年12月1日～平成27年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	36,700	350	600	500	7.82
今回修正予想(B)	35,500	350	600	500	7.82
増減額(B-A)	△1,200	0	0	0	
増減率(%)	△3.3	0.0	0.0	0.0	
(ご参考)前期実績 (平成26年11月期)	32,587	△913	△630	△788	△12.34

修正の理由

(連結)

繊維機械事業につきましては、中国市場の金融規制の動向を注視していかなければなりません。中国の繊維産業におきましては繊維製品の在庫調整が進み、設備投資意欲の改善が見られるとともに、量から質への転換が進んでおり、当社の高性能ジェットルームの評価が高まっております。

工作機械関連事業につきましては、自動車産業で新しい生産システムへの移行が本格化することに伴い、ボールドライブ駆動NC円テーブルやダイレクト・ドライブ・モータ駆動NC円テーブルなど新製品の採用に向けて積極的な販売活動を展開いたします。さらに、自動車産業への実績を活かして、その他の産業分野に対する販売拡大を図ってまいります。

繊維機械事業、工作機械関連事業ともに、第3四半期以降も引き続き回復基調が継続すると見込んでおりますが、第2四半期での落ち込みを踏まえ、通期の業績予想につきましては、売上高38,000百万円、営業利益250百万円、経常利益250百万円、当期純利益200百万円に下方修正いたします。

なお、詳細は本日開示いたしました「平成27年11月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の通りであります。

(個別)

業況につきましては上記の通りでございます。

通期の業績予想につきましては、売上高35,500百万円に下方修正いたします。営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、修正はありません。

(注)上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上